

保護者からのメッセージ FROM PARENTS



野村 健一郎
(福岡歯科大学)

「父からのメッセージ」

今春、末の娘が卒業した。二人の姉も本学出身なので足かけ14年お世話になった次第、ご指導いただいた先生方にこの紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

その三人の保護者ということで原稿を依頼されたのであるが、文才のない私が引き受けたのはその時父の事を書いてみればと思ったからである。

先日ある新聞に“生きがいとは感動することでありそしてそれを伝えるために書くという役割は大きい”という趣旨の記事があり共感するところがあった。そして父からそれに近いものを受けたように思う。父正美は歯科医であったがアララギ会会員でもあり歌集や会誌に歌が残っている。そこで私が印象に残っている二首を紹介することで与えられたメッセージの責を果たすことにしたい。

「授業やめて赤彦歌集語りくれし 英語教師伊地知先生」

中学の授業の時に涙を流しながら歌人島木赤彦の歌を解説された先生のことを“関係のない英語の時間にだよ”とよく話してくれた。自分の感銘を伝えたい一心のことであろうが結果として生徒達に強い印象を残した。この光景を想像すると心が打たれる。

「命保ちて還り来しより四十五年舞鶴棧橋の波を忘れず」

七年前八十九歳で他界した父は晩年院長室の壁にこの歌を書き留めていた。シベリア抑留から帰りついた京都舞鶴港でのことを思い出して詠んだものであり、透析が始まり死を意識し始めたであろう父の心情を思うと感慨深い。

私達の親の世代の悲惨な戦争の犠牲があつて今がある。それを忘れず平和な社会を残してもらったことに感謝し命の尊さを伝えていく事が、何かおかしき昨今の世相にあつて大切だと思うのである。

「この歳で親を頼んで春の雨」健一郎 (58歳)



山田 文隆
(福岡歯科大学)

「父&母の役割」

1年間の短さをつくづく感じるこの頃です。さらに体力、記憶力低下も感じるのは私だけでしょうか。あるTV番組のコメンテーターが話すには、加齢と共に体験する情報量及び感動量等の変化が一つの原因である。つまり幼児期から得る夢・希望も、成人になるにつれ減少傾向となり、行動の先読みを繰り返してしまうからだとか。人生折り返し点を過ぎた今ゆっくり歩みたいと願いつつ、日々精一杯の診療を頑張っております。

さて年1回各地区で開催される父兄懇談会ですが、夫婦そろって毎回出席して参りました。1学年としての初参加では、高学年のご父兄のお顔に最終学年に近づいたという事からでしょうか、不安感の中にも生き生きとされた様子に羨ましさを感じたものです。同学年のご父兄とはこれから長く続くであろう緊張の日々についてお話した事も、気付けば今夏で6回目の参加となります。

まさに「光陰矢の如し」です。

大学からの状況報告は非常に懇切丁寧であり、刻々と厳しく変化する国家試験情報は親としての心構えをも高める事となります。さらに懇親会では学年別の情報交換も大きな収穫となります。教育とは父母にとって本当に大変な仕事であり役割(天職)です。イギリスの劇作家バーナード・ショウが「子育ては一大事業で有る。しかし、未だかつて、その適正検査が行われたことはない」と語っています。誰もが親である限り、常に不安やあせりの中で子供の成長を願っているはず。支部によっては父兄懇談会出席率に差があるようです。まだ一度も出席されたことのないご父兄が居られましたら是非に参加をお薦めしますと共に、お忙しい貴重な時間の中、私共の代表として全国各地に出向かれる父兄会役員皆様の御尽力に、心より感謝致します。

短大歯科衛生学科 登院式

福岡医療短期大学歯科衛生学科の平成22年度登院式が、4月13日、福岡歯科大学講堂で執り行われました。同学科第3学年80人は一人ひとり壇上に上がり、緊張した面持ちで短大大学長から戴帽を受けました。



福岡歯科大学 父兄後援会会長改選

3月6日に開催された福岡歯科大学父兄後援会理事会・評議員会合同会議において、会長の改選が行われ、第17代会長として日高英治氏が選任されました。



日高 英治氏

短大父兄後援会 会長改選

4月7日、福岡医療短期大学の父兄後援会総会において、歯科衛生学科父兄後援会会長に古市哲氏が選任され、保健福祉学科父兄後援会会長に勝矢記奴子氏が選任されました。



歯科衛生学科
古市 哲氏



保健福祉学科
勝矢 記奴子氏

病院長・情報図書館長決定

2月19日に開催された第423回理事会において、大学運営の中核を担う医科歯科総合病院長ならびに情報図書館長が決定しました。

任期は、病院長、情報図書館長ともに平成22年4月1日から平成23年3月31日までです。



医科歯科総合病院長
松浦 正朗
口腔インプラント学分野・教授



情報図書館長
中島 興志行
内科学分野・教授

短大歯科衛生学科長の選任

福岡医療短期大学歯科衛生学科長に升井一朗教授が選任されました。なお、任期は平成22年4月1日～平成24年3月31日までです。



升井一朗歯科衛生学科長